

応募シンボルマーク



ひとに シゴトに めぐりあう

〔作品の解説〕

橋をモチーフに、Megribaの「M」を形成しました。人と人、地方と都市の架け橋となるMegribaの取り組みを表現しています。シンボルマークをつなげると下記の図のように花の形になります。





作品の解説

【メグリバの由来】

- 人と人をつなげて新たな交流を生み出す
- ここに来ればかならず求めていた出会いと成長のヒントがある
- 「巡りあう場」 = 「メグリバ」と決定

【巡り合いとは？】

思いがけず出会うこと

⇒「どうしたら、もっと良くなるのだろうか？」と悩み、日々の事に一生懸命向き合って紆余曲折しながら自らの道を前進する事で、『運命的な出会い』に出会う

【シンボルのポイント】

- 『めぐりば』の頭文字『め』を象徴に使用
- ここに来ればかならず求めていた出会いと成長のヒントがある
 - ⇒ 『め』を全て繋げて、グルグルしながら『運命的に出会える場』を表現
- 人と人をつなげて新たな交流を生み出す
 - ⇒ 端の二つの『●』で出会いを求める2人を表現
 - ⇒ 中央の『●』で出会いを表現

応募シンボルマーク



作品の解説

握手（人と人とのつながり） × 若葉マーク（これから挑戦していくビギナー）

既存ロゴタイプの『M』の握手表現を補完するようなシンボルを制作。
手を取りあうという要素に、右上（未来）に向かって勢いよく伸びる若葉マークを
組み合わせることで、人々がチャレンジを始めていく場所『Megriba』を表現しています。

斜めを意識したシャープな形状とはっきりとした色使いをすることで
ビジネス系らしいトーンづくりも意識しています。